



2024年3月期 第2四半期 決算説明会

2023年12月1日

(東証プライム 証券コード：7510)

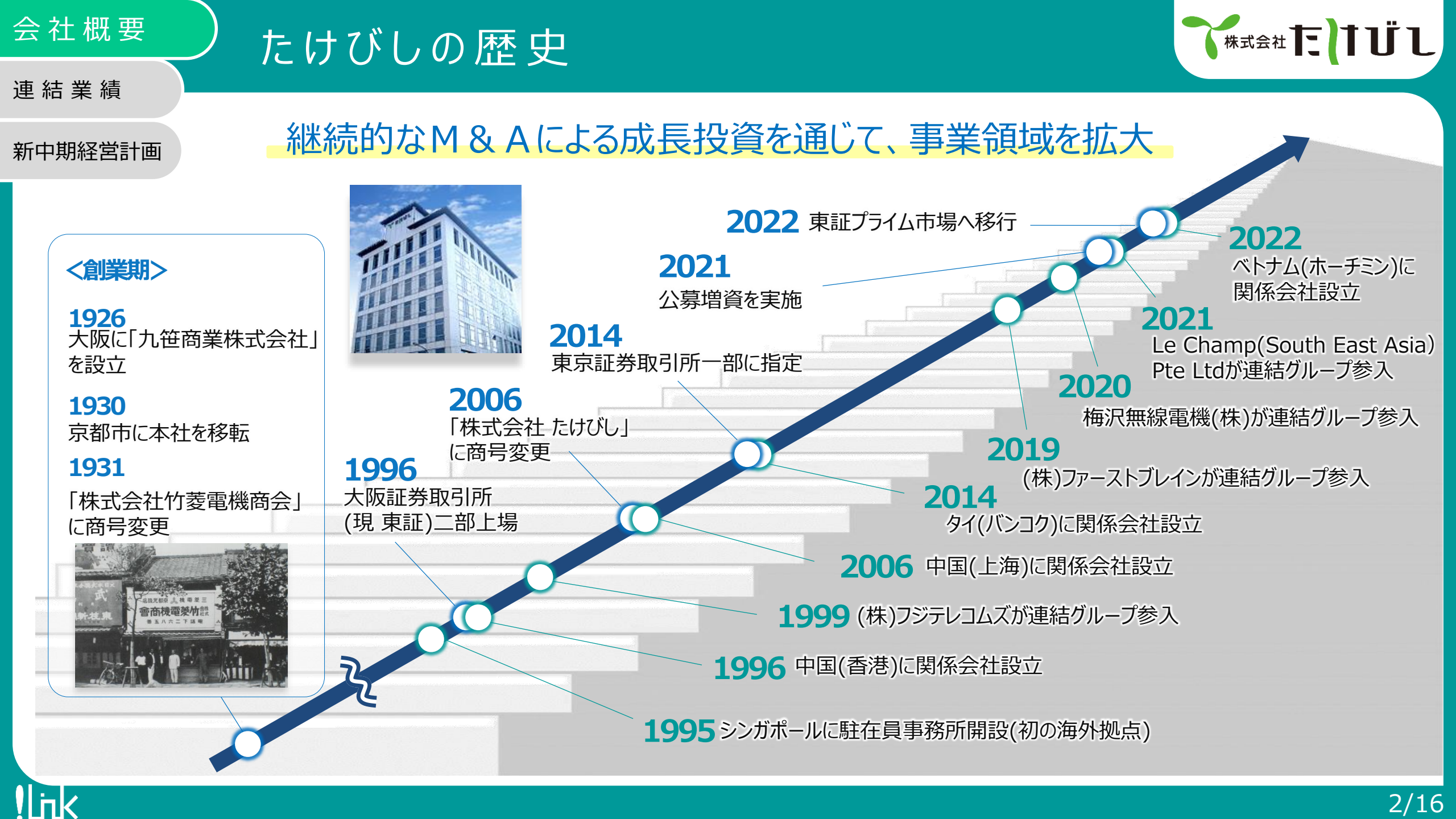
目 次

01.	会社概要	P1
02.	連結業績	P7
03.	新中期経営計画『T-Link1369』	P11

01. 会社概要

会社名	株式会社たけびし
設立	1926年4月24日
資本金	34億6百万円
代表者	代表取締役社長 岡垣 浩志（おかがき ひろし）
本社	京都市右京区西京極豆田町29番地
連結売上高	974億円（2023年3月期）
連結人員数	878人
事業内容	三菱電機系の技術商社(三菱製品 約40%) 産業用電機品・電子部品及び医療機器等の販売がメイン





!link

2/16



当社の存在意義と重要課題

多様なパートナーと共に“京都発 最強のトータルソリューション商社”へ

企業理念

人と人、技術と技術を信頼で結び、輝く未来を創造する

行動基準

-企業倫理の遵守と社会への貢献-

- 1.信頼：最良のサービスを提供し、お客様との高い信頼関係を築こう！
- 2.技術：お客様に役立つ新技術の吸収と革新に努めよう！
- 3.総合力：個々の強みを結集し、トータルサービスを創造しよう！

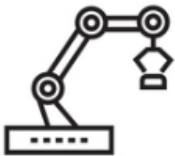
コーポレートメッセージ



人と人、技術と技術でお客様、取引先様との新たな"LINK"を創出し続けていきます。

持続的成長のための重要課題

生産性の向上



デジタル化社会へ向け
つなぎの技術力による
産業・社会の構築

新たな価値の提供



多様性のある
国内外の商材発掘と
ものづくりの価値向上

暮らしの基盤づくり



豊かで安全な
人々の生活を支える
快適な社会環境構築

地域環境との共生



再生可能エネルギー
の活用による
脱炭素社会への貢献

人材育成と社会貢献



多様な人材が活躍
する企業風土づくりと
地域社会との共創

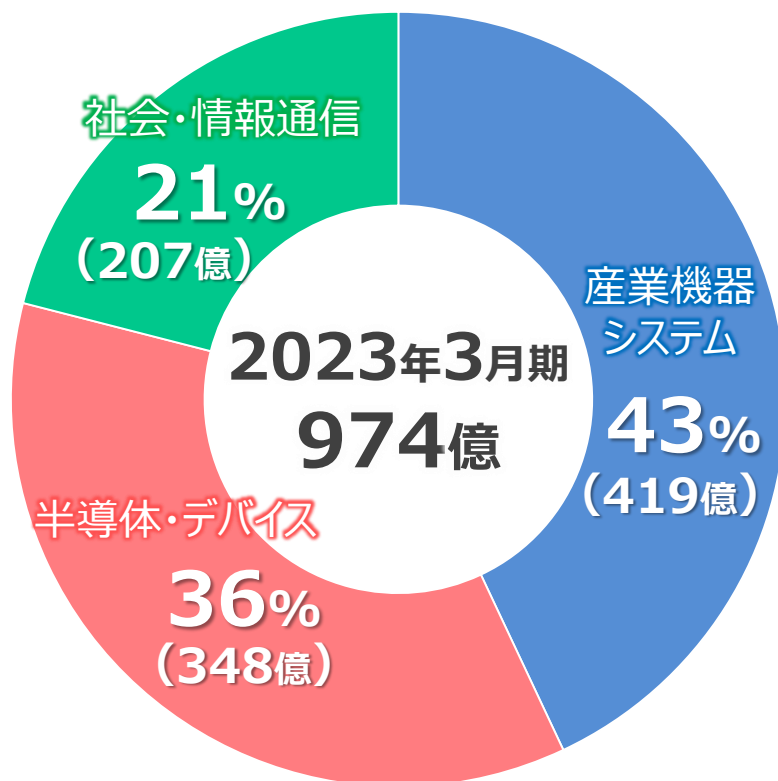
経営基盤の強化



環境変化に対応した
事業体制の構築と
ガバナンスの充実

セグメント別売上高構成比

バランスを保った事業ポートフォリオによる安定経営を目指す



取扱製品



シーケンサ・サーボ



レーザー加工機



ロボット・装置



オリジナル製品



半導体



CPUボード



表示デバイス



ODM



放射線がん治療装置



エスカレーター・エレベーター



DX関連商材



携帯電話

会社概要

連結業績

新中期経営計画

株式会社 **たいむし**

当社の強みと目指すべき姿

つなぎの技術力で新たな感動や驚きを創出する “トータルソリューション商社”

パートナー

約**1,600社**の仕入先
約**70社**のSIer

当社



お客様

京都を中心とした
約**3,500社**の
個性豊かな顧客層

主要仕入先（順不同）

三菱電機 グループ
オムロン グループ
(株)村田製作所
ニデック グループ
(株)PFU
ヒロセ電機(株)
(株)バリアンメディカルシステムズ (アメリカ)
シーメンスヘルスケア(株) (ドイツ)
Advantech Co., Ltd. (台湾)
Littelfuse, Inc. (アメリカ)

主要販売先（順不同）

オムロン グループ
京セラ グループ
島津製作所 グループ
SCREEN グループ
ニデック グループ
村田機械(株)
村田製作所 グループ
パナソニック グループ
住友電工 グループ
(株)イシダ

コンポーネント

ソリューション

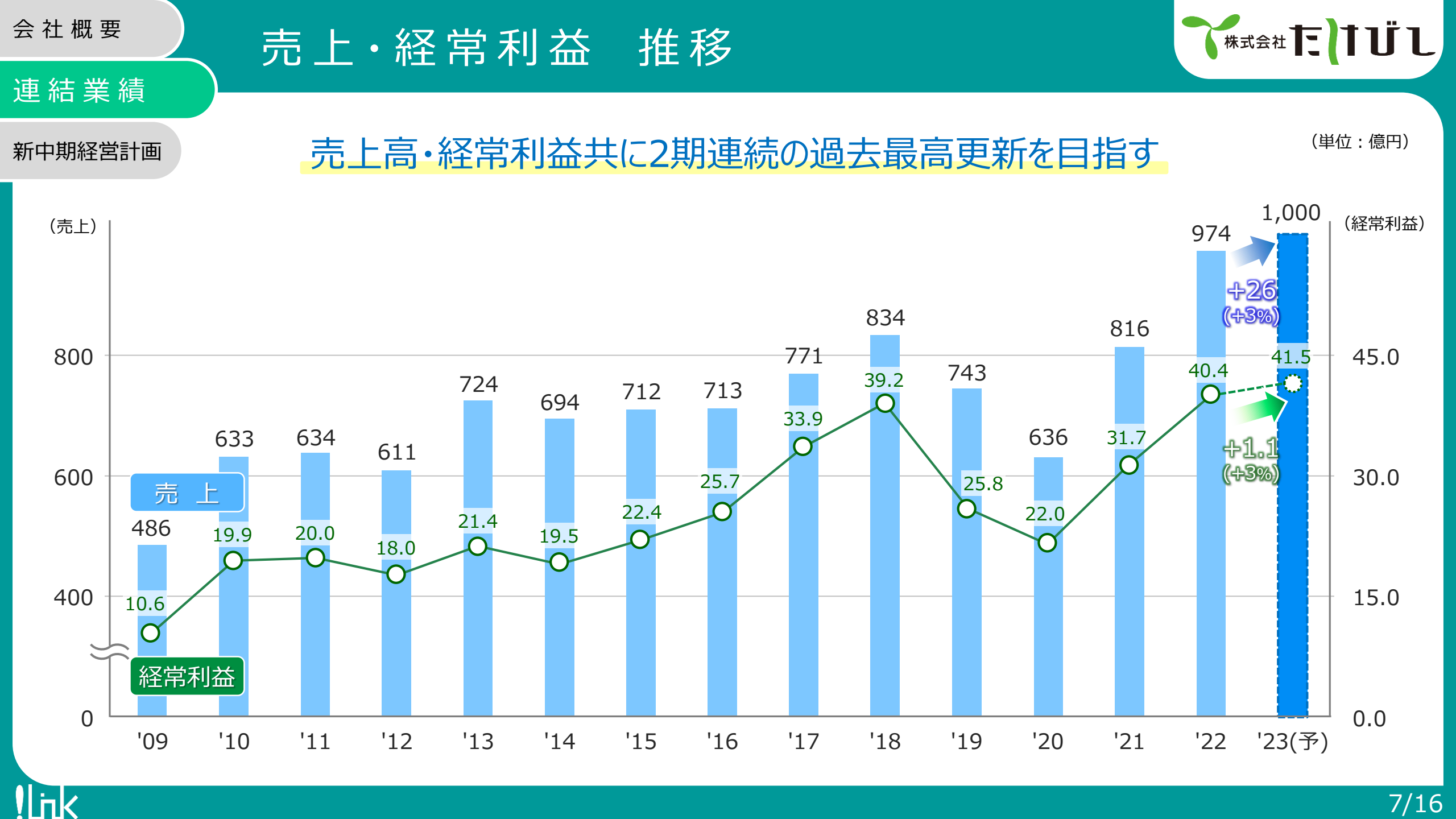
コーディネート

!link
ビックリンク

!link

6/16

02. 連結業績



2024年 3月期 第2四半期実績・通期予想



コロナショック後、第1・2四半期とも3期連続 増収達成

(単位：億円)

四半期別 売上推移

(単位：億円)

() は前年比

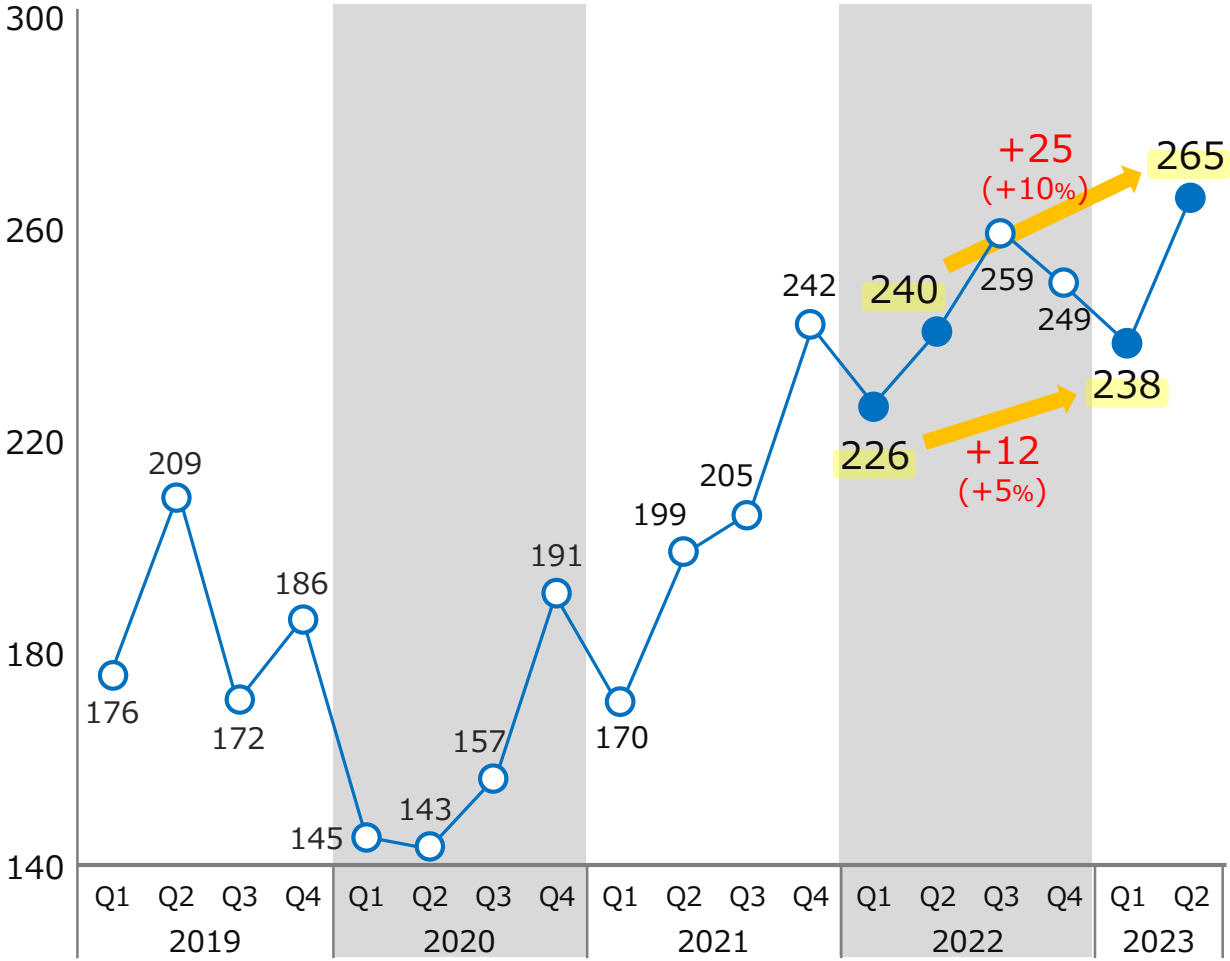
売上高

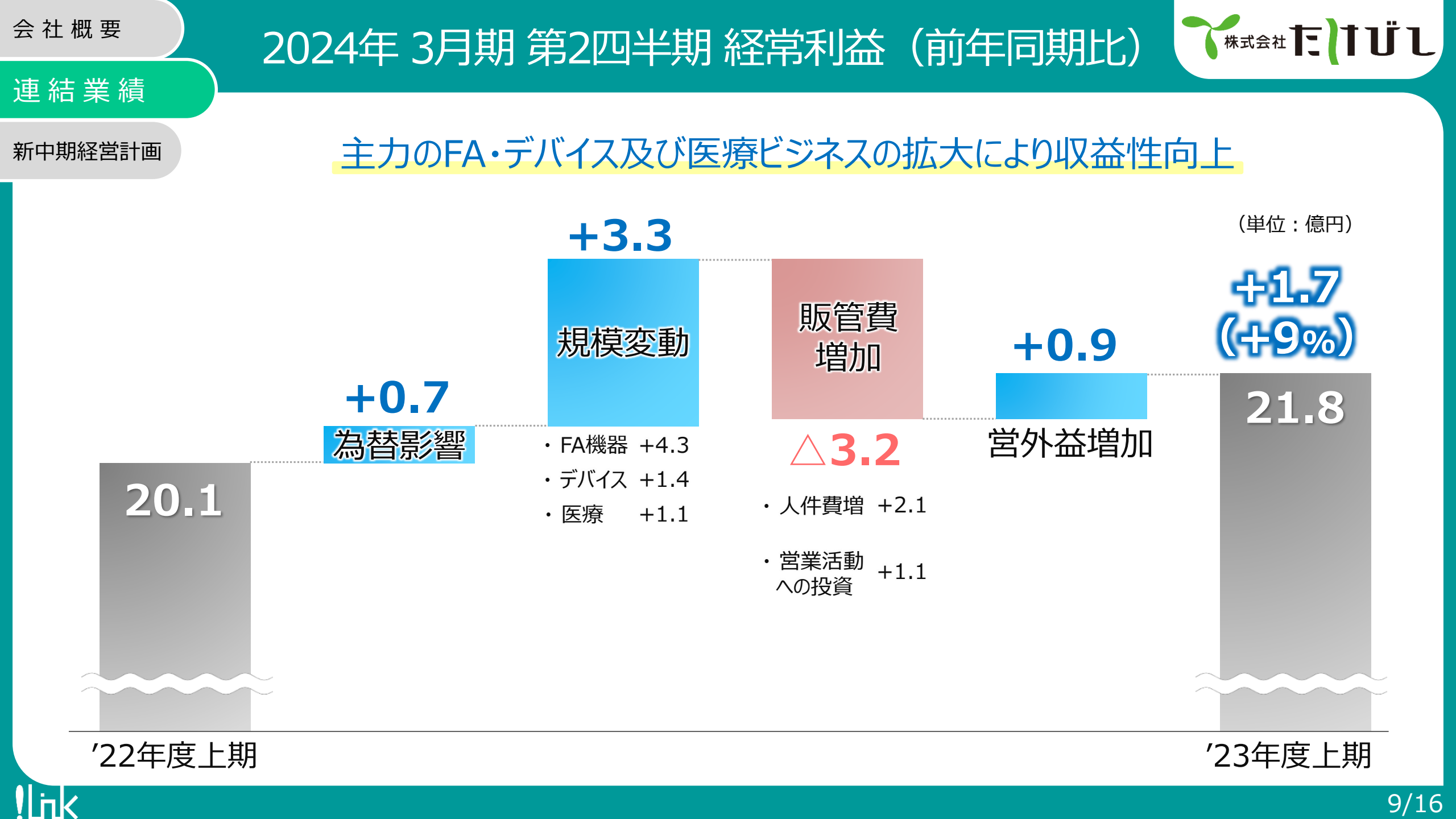
荒利

経常利益

経常利益率

上 期	下 期	通 期
実 績	予 想	予 想
503 (+8%)	497 (△2%)	1,000 (+3%)
71 (+6%)	71 (±0%)	142 (+3%)
22 (+9%)	20 (△3%)	42 (+3%)
4.3%	4.0%	4.2%





!link

9/16

2024年 3月期 セグメント別 売上高



海外を中心に市場環境は厳しい見通しも、医療やFA機器を中心に事業拡大

(単位：億円)

売上高 (億円)	上期	下期			通期	
	実績	予想	前年 同期比	売上高増減要因	予想	前年比
産業機器 システム	211	213	±0%	FA機器：中国拠点が景気減速に伴う設備投資の抑制により減少も、半導体、EV向けや大阪・関西万博向け等の需要を捉え増。 装置システム：製造・食品業界向けを中心とした生産現場の自動化需要獲得により増。	423	+1%
半導体・ デバイス	166	166	△10%	デバイス：東南アジア各国EMSメーカーの在庫調整進行により需要減。 半導体：海外半導体がパワーコンディショナー向けで増も、商社機能を活かした市場流通品特需の反動により減。	332	△4%
社会 インフラ	90	80	+8%	電子医療装置：放射線がん治療装置の増に加え、医療現場のDX需要獲得により増。 重電：脱炭素需要の高まりを背景に太陽光発電システムが増。	170	+24%
情報通信	36	39	+2%	携帯電話：携帯基地局の投資抑制により需要減も 自社開発アプリの携帯ショップ向け販売及び異業種展開により前年並に推移。 情報システム：非製造、公共分野等をターゲットとしたDX及びクラウド化需要の獲得により増。	75	+6%
合計	503	497	△2%		1,000	+3%

03. 新中期経営計画『T-Link1369』

新中期経営計画『T-Link1369』

新中期経営計画

2026年度（創立100周年）に向けて、連結売上高1,300億円を目指す



連結売上高

1300 億円

NEWビジネス

+300 億円

経常利益

60 億円

ROE

9 %

成長

4つの成長戦略
の進化

変革

総合商社を目指した
イノベーションの創出

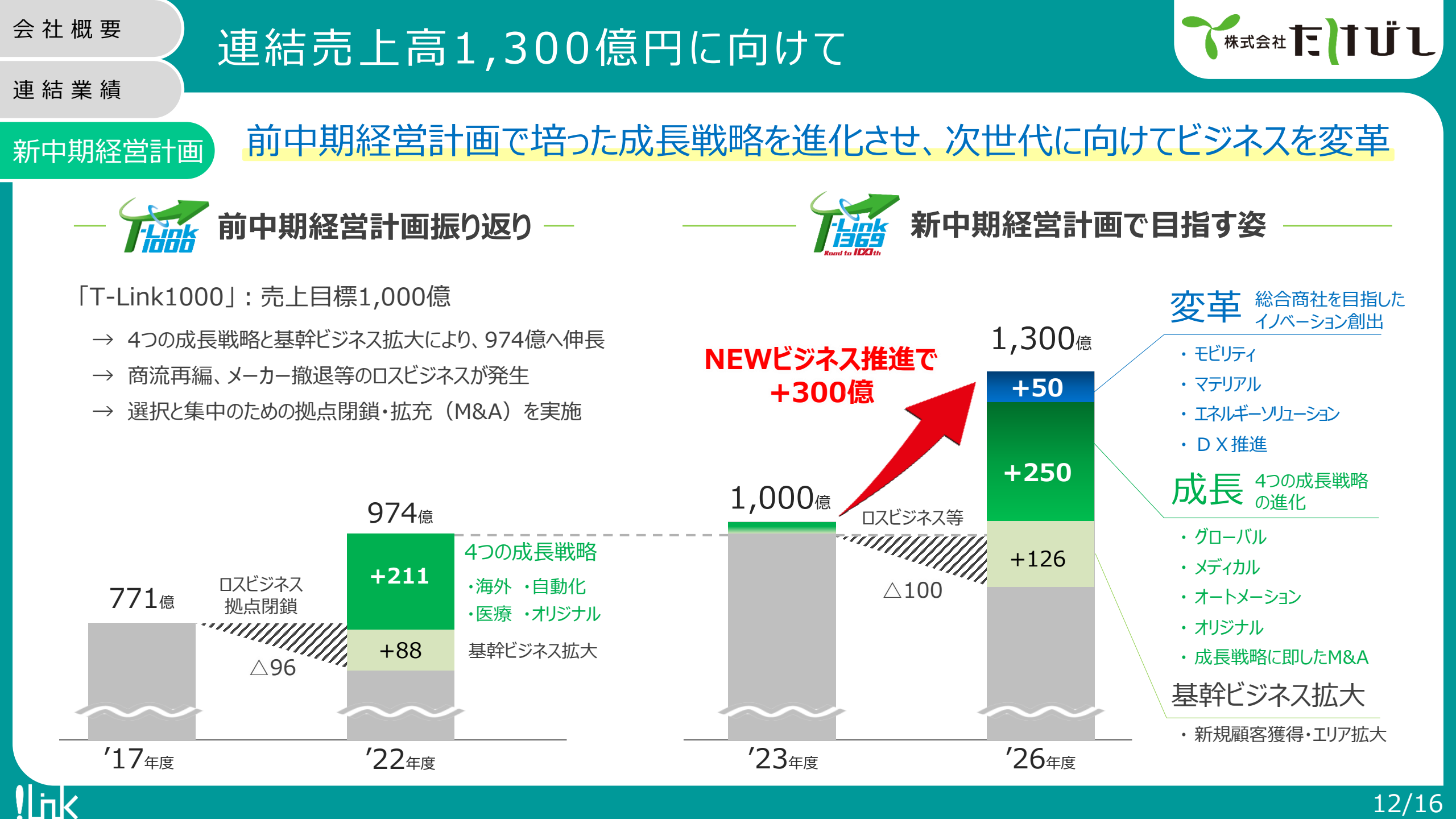
財務

資本効率を重視した
経営の実践

非財務

サステナビリティ
経営の高度化

基幹ビジネスの拡大



会社概要

連結業績

成長

4つの成長戦略の進化

株式会社

teibushi

新中期経営計画

当社の強み(技術提案力)を活かした、成長市場での更なる事業拡大

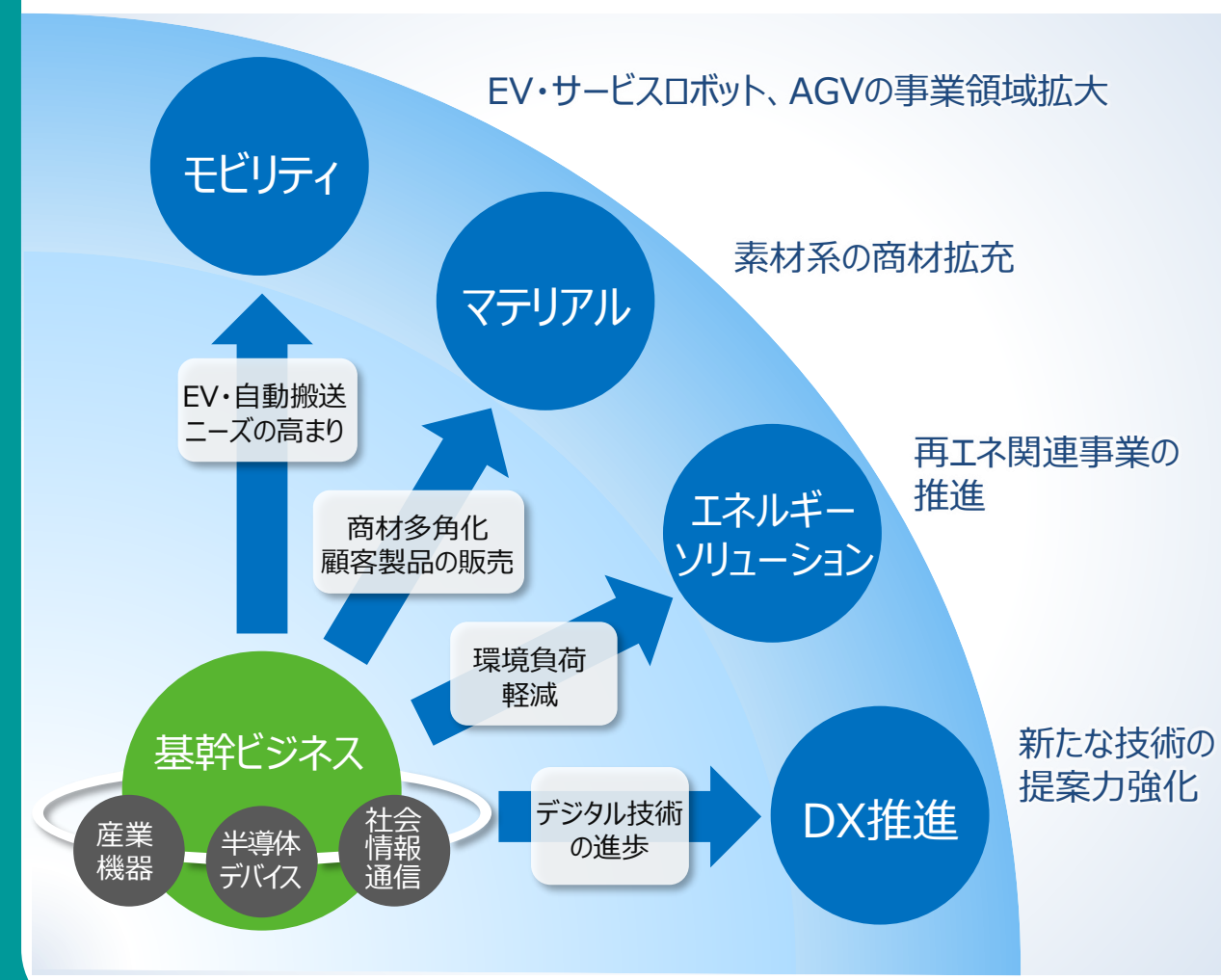
	施策ポイント		売上 (2022→2026)
グローバル	✓ インド等成長市場強化・EV向けデバイスビジネスの推進 ✓ マレーシアFAソリューションビジネスの基盤強化 ✓ 東南アジア拠点拡充等、更なるエリアの拡大		+94億 236億 → 330億
メディカル	✓ 新領域（外科、脳外科等）向け診断装置需要の獲得 ✓ 放射線がん治療装置及び保守ビジネスの更なる拡大 ✓ 放射線情報システムの広域展開による医療DX推進		+57億 73億 → 130億
オートメーション	✓ 労働人口減少・生産の国内回帰に対応したソリューション展開 ✓ 全体構想の提案による、工場まるごとスマートファクトリー化推進 ✓ 異業種（食品等）向け自動化需要の捕捉		+45億 40億 → 85億
オリジナル	✓ つなぎの技術と新技術（AI等）の融合によるイノベーション創出 ✓ オリジナルスマホアプリを活用したSaaSビジネスの推進 ✓ 海外拠点・パートナー連携による販売強化		+7億 13億 → 20億

成長戦略に即したM&Aの推進

!link

13/16

既存ビジネスの枠組みを越えた新たな価値の提供による、総合提案力の強化



モビリティ

- ◆ 次世代搬送システムによる省人化と小売業・建設業等への展開

マテリアル

- ◆ 加工品・メカ部品等の海外商材提案
- ◆ 建材、樹脂、磁石等の商材拡充でビジネス領域を拡大

エネルギーソリューション

- ◆ 風力・太陽光発電設備のワンストップ提案（販売～施工・メンテ）
- ◆ 創・畜エネルギー関連ビジネスの更なる強化（蓄電池、EV充電設備、次世代太陽光等）

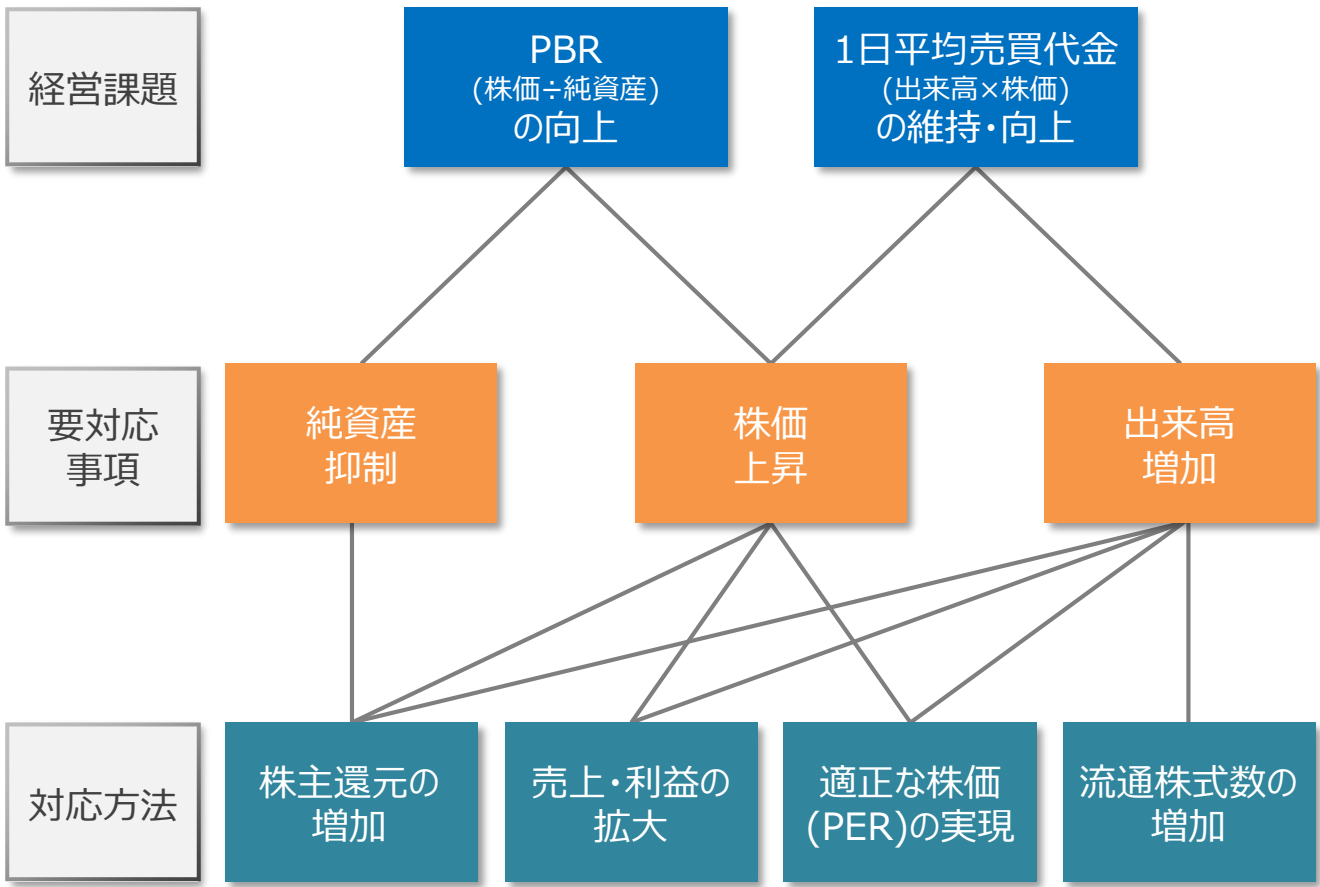
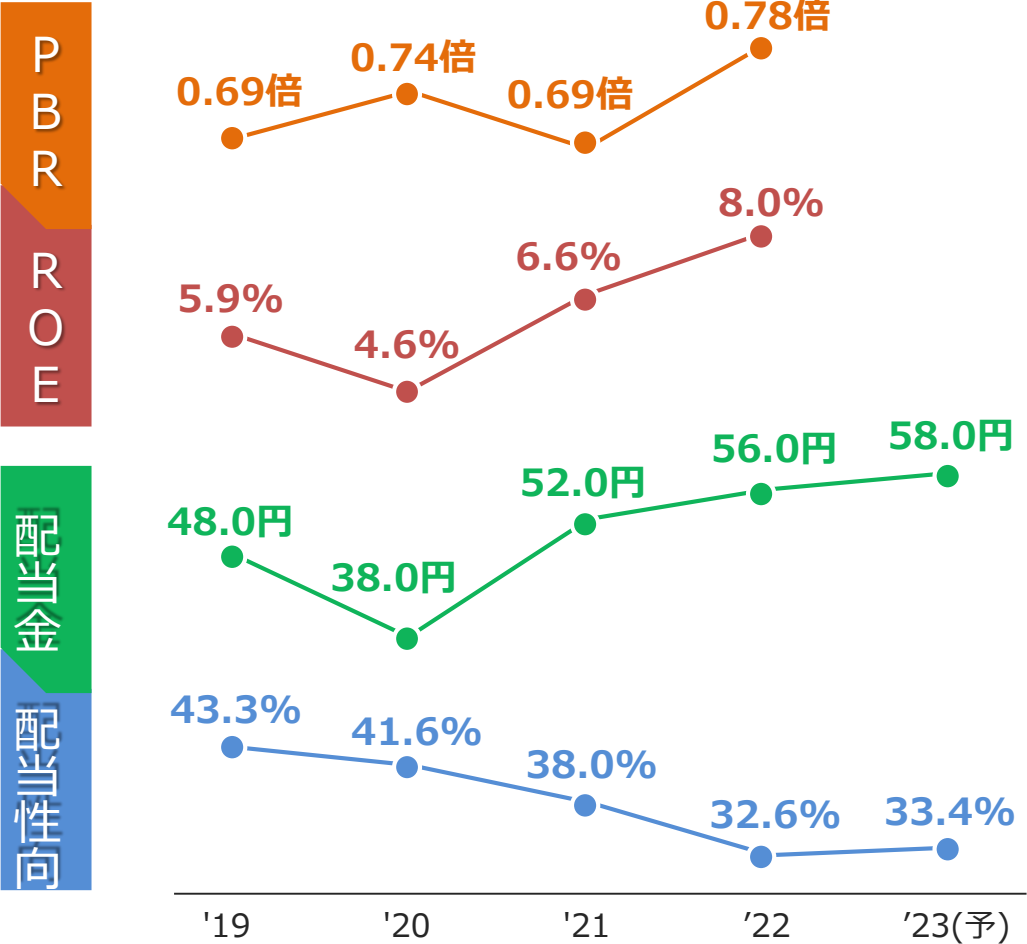
DX推進

- ◆ 生成系AI活用による社内業務改善の実証と顧客への提案
- ◆ 鉄道・公共分野向けIoTビジネスの展開

新中期経営計画

PBR1倍を目指した中長期的な企業価値向上に向けて

※PBR・ROE＝連結数値





経営戦略室 企画部